

「住宅リフォーム資金助成金」 制度改正で経済効果！

家も新しいうちは気持ちがいい。長い年月がたつと台所を直したいとか、和室を洋間に変えたいなどいろいろとリフォームを考えます。

そんな時、町の「住宅リフォーム資金」制度を利用すれば4万円の助成を受けることができます。

☆町の小規模契約希望者として登録している業者に頼むこと。

☆工事費20万円以上。

この制度、2012年度まで一つの住宅で、一回限りの助成でした。

― 議会でも取り上げて―

私は12年、13年3月の予算審議で「助成金4万円は少ない。8万円に引き上げて欲しい。そうすることで利用者も増え、業者も助かる」と質問しました。

そして、今年4月から助成金額は同じですが、一つの住宅で場所が違えば何回でも(年一回)助成を受けられるという制度に改定されました。

― 町内の経済効果にも―

12年度の一年間で利用件数は10件、今年度4月から8月までの

5カ月間で19件と利用者が倍近くになっています。

また、請負金額では

12年度 約950万円

13年度(5ヶ月間)

約1460万円

制度改定で町内の経済効果にもなっていると思います。

― 利用者や業者は―

昨年と今年と制度を利用した方は「助成金額はもっと多いほうがいい、何回も助成が受けられるようになって助かりました」

埼玉土建の方は「一度住宅リフォーム制度を利用したことのあるお客さんから再度、別のところを頼まれることはよくあるので、大工さんなどにとっては非常に助かる制度改革だ」といっています。

(常山知子)

みな民報に連載された

「秩父事件と皆野町」

「皆野町の秩父事件」

が冊子になりました。

1部 350円です。

米国は、原爆に注ぎ込んだお金と技術で、遺伝子組み換え技術を誕生させた。遺伝子組み換え食品は安全か？

遺伝子組み換えとは？

作物の遺伝子の一部を酵素などで切り取り、そこに他の遺伝子を人工的につなぐことです。それにより、除草剤に強い安価な作物の、安定生産を目指すとしています。

放射線も動物や植物の遺伝子を傷つけ、病気や奇形を引き起こします。フランスで遺伝子組み換え食品を2年間ラットに与え続ける研究をしたところ、4ヶ月で死に始め、21ヶ月でメスの80%が乳がんにかかり、2年で腫瘍が大化したと発表され、「世界が食べられなくなる日」の映画がつけられ、日本でも今上映されています。

遺伝子組み換え食品の安全基準は、ラットを使った3ヶ月間の試験結果を基につくられています。グリーンピースジャパンによると、遺伝子組み換え原料入り食品メーカー一位は明治、二位は味の素、三位は山崎製パン。

みな民報 前号のつづきです

新米議員のひとりごと

常山知子

先日、役場の職員から「常山さん、人間ドックを受けていませんか」と声をかけられました。「ドキッ！」痛いところを突かれました。そうなんです。気にはしていたのですが、もう二年も検査してなかったのです。気になっていたことが、その言葉で一歩前に進むことができたからです。

皆野町に住むように、すごいな！と思ったことの一つに、国保に入っている人が「人間ドック」を受ける場合、三万円の補助があることです。

けれどもなかなかうまくいきません。町は人間ドックや特定検診の受診率アップに頭を悩ませています。だけれども健康で元気に長生きしようと願っています。そのためにも、日頃の運動とあわせて、一年に一度くらいは、自分の体の状態をしっかりと見つめ早めの対処が必要ですね。さっそく検診の予約をしてきました。

